

科目名	ヴォーカルⅥ							年度	2025
英語科目名	Vocal Ⅵ							学期	後期
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必／選	選	時間数	40	単位数	1	種別※	実技
担当教員	結城安浩		教員の 実務経験			実務経験の 職種		歌手、ヴォイスト レーナー	
【科目の目的】 より多くのジャンルの曲を使って、グループでの歌唱とソロパートの歌唱を実践する。また、観客の前で歌うことを想定し、身体を使つての表現も行っていく。									
【科目の概要】 様々な種のヴォーカルに取り組み、歌の世界観を理解し、歌唱力と表現力を高めることを目標とし、成果を発表する。									
【到達目標】 ヴォーカルⅡで確実に声が成長し音域が変化してきたところで成果発表を経験する。そして、発表後の授業で一人ひとりが良かった点、悪かった点、練習と本番での相違点を振り返り理解し、自分の歌声を更に伸ばしていくにはどうしたらいいかを考え、工夫していくこと、声だけでなく歌の表現力を高めていくこと、どんなジャンルにも通用する柔らかい歌声を身につける。									
【授業の注意点】 授業態度（特に居眠りや私語）に関してはかなり厳しく対応する。また、連絡のない遅刻・欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	腹式呼吸を意識し、安定した発声ができる。高低差、強弱、速度を自在に操り、幅広い表現が可能。	腹式呼吸を意識し、安定した発声ができる。高低差、強弱、速度をある程度操ることができる。	腹式呼吸はできるが、安定した発声は難しい。高低差、強弱、速度の調整が不十分。	腹式呼吸ができていない。声量や音質に課題がある。	発声の基本的な知識が不足している。				
到達目標 B	言葉の詰まりや早口がなく、聞き取りやすい発音ができている。	言葉の詰まりはほとんどなく、聞き取りやすい発音ができている。	言葉の詰まりがやや見られる。一部の言葉が聞き取りにくい。	言葉の詰まりが多く、聞き取りにくい部分がある。	基本的な発音ができていない。				
到達目標 C	広い音域で、安定した高低差を表現できる。	ある程度の範囲で高低差を表現できる。	高音や低音が出にくい、または不安定。	高音や低音の高低差が少なく、表現の幅が狭い。	高音や低音の高低差を表現できない。				
到達目標 D	言葉の強弱を効果的に使い分け、感情を表現できる	言葉の強弱をある程度使い分けることができる。	言葉の強弱を理解しているが、感情表現が乏しい。	言葉の強弱が単調で感情表現が乏しい。	言葉の強弱をつけることができない。				
到達目標 E	遅刻・欠席をしない	遅刻はあるが欠席は少ない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い	遅刻・欠席が非常に多い				

【教科書】 レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。							
【参考資料】							
【成績の評価方法・評価基準】 小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							
科目名		ヴォーカルVI				年度	2025
英語表記		Vocal VI				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	個別ミーティング	将来の目標の設定	現在の能力		自分の歌声を客観的に評価		
			レッスンの目的		レッスンの目的の理解		
			将来の目標の設定		明確な目標を設定		
2	バウンストレーニング	演奏中の修正能力の強化	母音フォームの構築		母音フォームの構築の実践		
			舌根トレーニング		正確なコントロールが可能		
			バウンストレーニング		演奏中の修正能力の強化		
3	オンビートとアフタービートのプレス	16分音符までコントロール	オンビートとアフタービートの概念		16分音符のリズムの実践		
			呼吸とリズムの連動		呼吸とリズムの連携		
			リズム表現		オンビートとアフタービートのプレスを取る		
4	ボリュームコントロール	歌唱における調整	ボリュームコントロールとロングトーン		ボリュームコントロールとロングトーンの理解		
			クレッシェンドとデクレッシェンド		クレッシェンドとデクレッシェンドの表現		
			ビブラートコントロール		ビブラートコントロールの実践		
5	トーンコントロール	舌根の使い方	体内イコライザー		体内イコライザーを作る		
			舌根の役割		舌根の役割と重要性の理解		
			トーンコントロール		トーンコントロールの実践		
6	ポジションとしての仮想メロディートレーニング	仮想メロディートレーニング	仮想メロディーの概念		仮想メロディーの概念の理解		
			様々な音域での練習		ポジションのコントロール		
			メロディートレーニング		表現力の向上		
7	歌詞の読解	言葉や想いの伝え方と子音と母音の関係性	歌詞の深堀り		歌詞の理解を深める		
			言葉や想いの伝え方		言葉や想いの伝え方の理解		
			子音と母音の関係性		子音と母音の使い分け		
8	朗読、母音朗読	文節と文章の捉え方とシーン設定	朗読の基礎		朗読の基礎の理解、母音朗読の実施		
			文節と文章の分析		文節の役割を分析		
			シーン設定と表現		朗読する文章に合った表現		
			ブレスプラン		ブレスプランの理解		

9	ブレスプラン構築	ブレス歌い		ブレスプランの作成	メロディーに対してのポジションの理解		
				ブレスコントロール	ブレスコントロールの実践		
10	母音リズム読み、リズム読み	キャラクターに合わせたフォームコントロール		母音リズム読み	発声の安定化		
				キャラクター設定	キャラクターに合わせた発声		
				フォームコントロール	柔軟な声の使い分け		
11							
12							
13							
14							
15							
評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							